

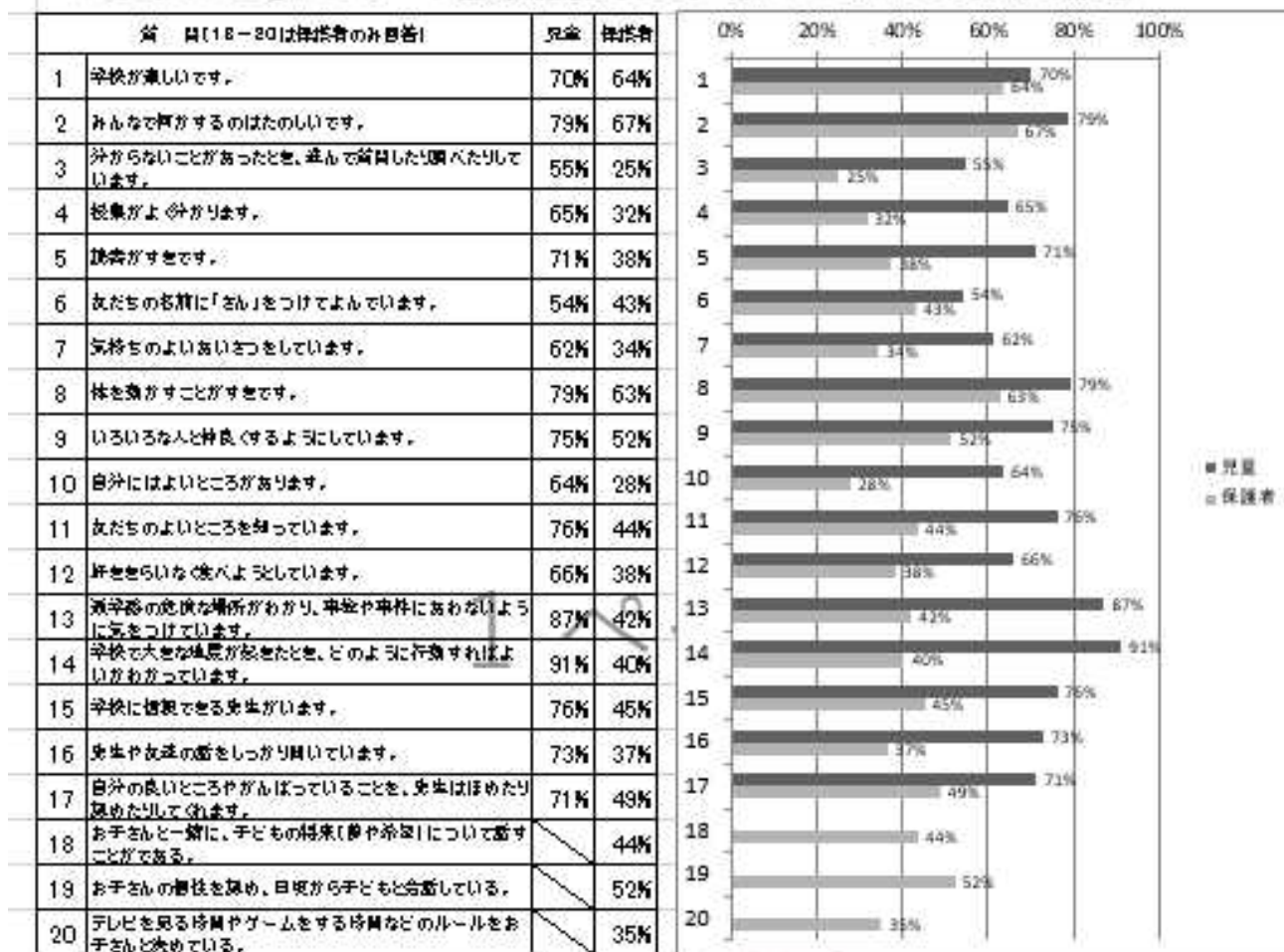
# アンケートへの御協力ありがとうございました

子どもの心に寄り添う「受容」と、社会規範や学校のルールを確実に身に付ける「枠組み」指導を大切にしている学校

4月の学校だよりで、学校教育目標の具現化に向けた目標と、その目標の成果を確認するための手立てとして「ともえの子アンケート」の実施について紹介しました。7月に子ども（1000名）に実施したアンケートと、保護者の方（952名）から回答いただいたアンケート結果をお伝えします。

これらの結果をもとに、2学期及び来年度の教育活動を見直し、必要に応じて改善をしていきます。

「ともえの子」アンケート結果概要(7月)【※「1 あてはまる」の集計結果】



## 【主な成果】

○「1」～子どもの割合が70%近くであるという結果が得られました。保護者の方から見られた様子においても、楽しく学校に行くことができている姿が感じられます。今後も、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めることができる指導に努めていきます。また、100%の児童ではないことを意識し、個に応じた指導を心がけます。

○「8」～体を動かすことが好きな子どもが多いことが分かります。

○「13」「14」～子どもたちの安全・防災に対する意識が高いことが分かります。

## 【主な課題】

●「3」～自分から進んで学習に取り組むことは、校区の課題でもあります。子どもたちが学習内容に関心をもち、自ら追究したい、調べたいと思えるよう、いっそう授業改善に努めていきます。

●「5」～保護者の方の数値が低いことから、家庭での読書に取り組む時間がなかなか確保できない様子がうかがえます。学校での朝読書を通じて、読書好きな子どもを増やしていきたいと思えます。

●「6」～「さん」付けの定着にまだまだ課題が残ります。時と場に応じた言葉かけができるよう指導するとともに、私たち教師の言葉遣いについても見直ししていきます。